

関西広域スポーツ振興ビジョン（最終案）の概要

【はじめに】

アジアで初となる生涯スポーツの国際総合競技大会「関西ワールドマスタースゲームズ 2021」の開催決定を契機とする生涯スポーツの気運の高まりを継続的なものとするため、関西ワールドマスタースゲームズ 2021 が開催される平成 33 年度末までの間に、関西広域連合として取り組むべきライフステージに応じたスポーツ振興施策とスポーツの副次的効果を明確にすることにより、一体的な取組を展開していく。

【1 スポーツをめぐる現状と課題】

(1) 生涯スポーツの状況

- 子どもの体力は、運動する子どももしない子どもも、体力の水準が最も高かった昭和 60 年頃に比べ依然低い傾向が続いている。また、20 代から 50 代は、いずれの年代でもスポーツ実施率は減少している一方で、60 代以上においては増加しており、健康増進への意識が高くなっている。
- ライフステージに応じた効果的なアプローチが必要となる中、スポーツ参加の機会を提供する総合型地域スポーツクラブの役割が注目されているが、約 2 割の自治体で未設置である。

(2) 競技スポーツの状況

- 大規模競技大会の開催実績を有する競技施設が関西各地に整備されているが、府県市単独では国際競技大会や総合スポーツ大会の招致が困難であることから、施設利用についての連携方策を検討する必要がある。

(3) 障害者スポーツの状況

- 障害者に対する理解、障害者スポーツに関する情報提供の促進など、障害者のスポーツ大会への参加機会の拡充方策の検討及び体育施設はもとより社会全体のバリアフリー化を促進する等の環境整備の検討が必要である。

(4) スポーツ人材の育成と活用

- スポーツ人材の育成は、各府県市においてそれぞれ取り組んでいるものの、アスリートの育成や大規模競技大会開催に必要なスポーツ人材を確保するため連携したシステムを検討する必要がある。

(5) 国内外のスポーツ大会の開催等の推進

- 関西ワールドマスタースゲームズ 2021、ラグビーワールドカップ 2019 の成功や東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前合宿招致の実現に向けて、関西全体で取り組む体制を検討する必要がある。

【2 関西が目指す将来像】

(1) 生涯スポーツの拠点「生涯スポーツ先進地域関西」

各府県市間の円滑な調整力のもと、生涯スポーツの気運の高まりを持続的なものにする取組を推進し、日本の生涯スポーツの拠点となる「生涯スポーツ先進地域関西」を目指す。

(2) 競技スポーツ大会の拠点「スポーツの聖地関西」

聖地と称される競技場や発祥の地を数多く持つ関西の強みを生かし、日本の競技スポーツ大会の拠点として「スポーツの聖地関西」を目指す。

(3) スポーツツーリズムの拠点「スポーツツーリズム先進地域関西」

各府県市の広域的連携のもと、関西における多種多様な地域観光資源とスポーツとを結びつけ、他府県からの訪問者やインバウンドの拡大を図るなど関西地域の経済活性化を推進し、「スポーツツーリズム先進地域関西」を目指す。

【3 広域課題に対する戦略】

◇ 戦略Ⅰ 「生涯スポーツ先進地域関西」の実現に向けた戦略

- ① 子どもや子育て層のスポーツ参加機会の拡充
 - ・ スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツ活動を支援
 - ・ 発育段階にある子どもたちのスポーツ障害の予防の重要性を周知する事業の検討
 - ・ 防災や子育てなど、スポーツ以外の分野にスポーツをリンクさせた新しいイベントの開催
- ② 中・高年のスポーツの振興
 - ・ 関西マスターズスポーツフェスティバル及びワールドマスターズゲームズのプレ大会等の開催を支援
- ③ 障害者スポーツの振興
 - ・ 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 での障害者のスポーツ参加機会の一層の拡充
 - ・ 体育施設及び交通アクセスも含めた施設周辺地域全体のバリアフリー化の推進
- ④ 地域のスポーツ振興に向けた広域的連携による支援
 - ・ 関西圏域でのスポーツに関する意識や余暇の行動等についての統一的な実態調査の実施
 - ・ 関西マスターズスポーツフェスティバルの 2021 年以降の毎年度開催
 - ・ 各種のスポーツ大会の招致により、家族、職域、同窓会など様々な参加形態の創出やボランティア参加の環境を整備

◇ 戦略Ⅱ 「スポーツの聖地関西」の実現に向けた戦略

- ⑤ 国際競技大会・全国大会の招致・支援
 - ・ インバウンドの拡大が期待できる国際競技大会や事前合宿、他府県からの訪問者の拡大が期待できる全国大会等の関西各地への招致を支援し、各府県市の特性を生かせる広域的なスポーツイベントを毎年度開催、各地に整備されている大規模施設利用の連携システムを構築
- ⑥ スポーツ人材の育成
 - ・ 各府県市が連携したアスリートの育成、スポーツ指導者情報の共有化、審判などの競技役員養成講習会等の共同開催
 - ・ 国際競技大会や国民体育大会・全国障害者スポーツ大会等総合スポーツ大会の開催時にスポーツ人材を確保するための相互派遣等のシステムを構築
- ⑦ 国際競技大会等のレガシー（有形・無形の遺産）の創出に向けた検討
 - ・ 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 の波及効果を最大化する取組を検討

◇ 戦略Ⅲ 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現に向けた戦略

- ⑧ 広域観光・文化振興との連携
 - ・ インバウンドをはじめとしたツーリズム対策の強化を目指し、関西に集積している観光資源および文化資源を融合させた関西ブランドを理解・体験できるプログラムの創出と、関西の強みである関西各地に多数ある聖地と称される各競技場を活用した広域的なスポーツツーリズムのプログラム創出を検討
- ⑨ スポーツ関連組織とのネットワーク形成
 - ・ 企業、行政、スポーツ選手、大学等研究機関が連携し、スポーツと連動することにより発展が見込めるスポーツ関連産業の現状把握を行うとともに、産業分野と融合したスポーツの振興方策等を検討

【4 ビジョンの実現に向けて】

関西での生涯スポーツの振興に取り組む構成府県市や関西経済同友会、スポーツ競技団体等との連携・協力を一層強化し、官民連携により、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 を成功させるとともに、今後の関西のスポーツ振興の推進体制について共同で検討を進める。